



■学校教育目標 『心豊かに かかわる力 つながる力 そして、生き方につなげる力』の育成

■学校経営スローガン 自分がすき！学校がすき！地域がすき！ かかわることを通して、すきをいっぱい伸ばせる学校

みんなが安心して「誰一人取り残されない学びの場」を実現するために大池中学校には、“つながり”を大切にした校内「ふれあい」教室【教室名：「チャレンジルーム」】があります。

チャレンジルームとは、さまざまな理由により「学校に行きたいけれど、なかなか登校できない」、「教室に入りたい気持ちはあるけど、なかなか入れない」などという思いをかかえる子どもたちに学習面・生活面での適応と自立を促し、教室に入れることだけではなく、「～ができるようになる」とする姿や思いを大切に支援する教室のことをいいます。

「チャレンジルーム」の中心的な立場で関わっていただく先生は、不登校対応コーディネーター「チャレンジルーム担当教員の〇〇〇〇（ ）先生」と、校内ふれあい専任教員「〇〇〇〇（ ）先生」です。教科授業の先生方やSCの先生にもお世話になります。

【大池中学校チャレンジルームでは・・・】

チャレンジルームの朝は、1日の日課を確認することから始まります。そのあとの活動時間は、自己学習を中心として、自分の目標に向かってワークをしたり、タブレットでロジ算(ゲーム感覚でパズルを解くことで、計算力と論理的思考力を自然に身につけられる計算パズル)やコグトレオンライン(学びの土台を育てる「認知機能強化トレーニング」で記憶力・聞く力・見る力・集中力・想像力を伸ばします)などに取り組みます。技術授業では、イチゴ栽培や、昨年度はジャガイモを収穫し、1年間交流活動を実施した四日市メノール学院通信制の先輩にプレゼント！

今年度からは、新たに職員玄関前のロータリー横に「チャレンジルームの菜園」を小川先生が中心となって子どもたちとともに、土お越しから「畝(うね)立て」をし、夏野菜の苗を植えました。

これは、畝(うね)を作ることで、水はけ(排水性)や通気性が良くなり、野菜の根が深く張りやすくなります。また、雨が降ったときに通路と栽培スペースを分けることができるため、泥はねによる病気を防ぎ、お手入れがしやすくなるというメリットもあるそうです。

このように苗植えなどの菜園での土に触れる活動、そして、ジグソーパズル・カードゲーム・編み物などを小グループで楽しみながら取り組んでいます。ひとりひとりの思いを受け止め、笑顔になれる時間が増えることを願いながら毎日過ごしています。



1 大池中学校『チャレンジルーム』って・・・どんなところ？！

① 【設置目的】大池中学校では、今まで「学校に行きたいけれど、なかなか行けない」、「教室に入りたい気持ちはあるけど入れない」などという思いを持つ子どもたちに対して、中学校内における居場所と学習機会を確保し、集団生活への適応、心の安定、基礎学力の補充等のための支援及び指導を行うことによって社会的自立を目指します。このような思いや悩み、不安をかかえる子どもたちに対して、大池中学校の組織として関わり、一人一人の生徒に対するきめ細やかな教育(誰も一人にしない教育)で支援や自立を考える教室とすることを目的とし「教室復帰を目指すことだけが目的ではない教室」です。

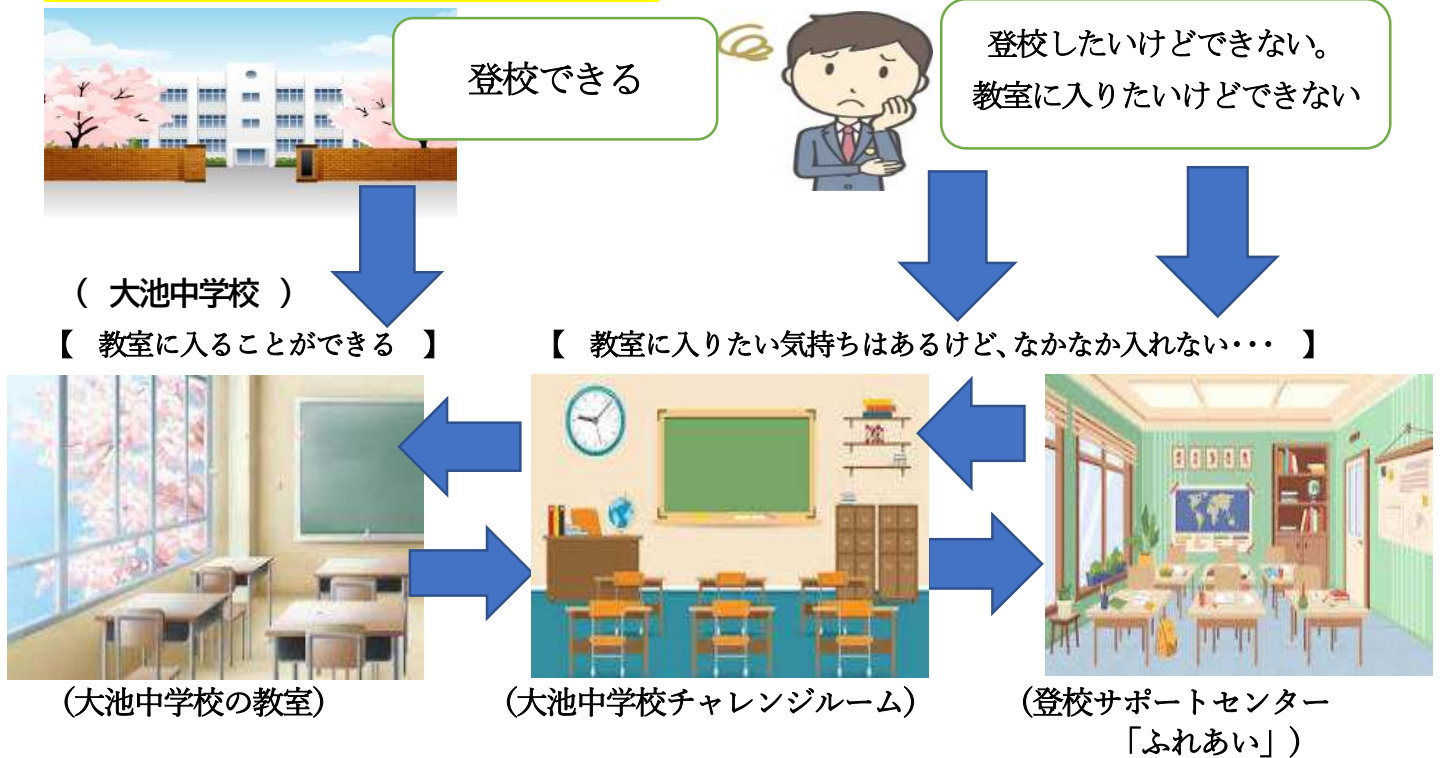


② 【「チャレンジルーム」で大切にしたいこと(・・・なろうとする姿を大切に)】

- 1 チャレンジルームを教室に入れるようになるために「計画的に」活用できるようになるようにする生徒。
- 2 「学習や活動」の意思表示ができるようになるようにする生徒。
- 3 「自分で学習」を進められるようになるようにする生徒。
- 4 チャレンジルームで取り組んだ「学習・活動の振り返り」ができるようになるようにする生徒。

大池中学校「チャレンジルーム」は、実際に学習や活動を通して、子どもたちの意欲や達成感を感じさせる場として、安心して取り組むために必要な条件「・・・なろうとする姿を大事にする」教室です。

③ 校内サポートルーム設置に関わるイメージ



■ 令和2年度に四日市市の中学校で初めて設置された大池中学校『校内「ふれあい教室」チャレンジルーム』。初年度にあたる令和2年度は大池中学校はじめ、市内の3つの中学校に「校内ふれあい教室」が設置されて、今年度で7年目を迎えます。四日市市では、昨年度ですべての市立中学校に設置されましたが、四日市市内において、1週間毎日(終日)開設しているのは『本校だけの強み』です。

「いまは、教室にはなかなか入れないけど、学校には行きたい」、「教室には入れていないけど勉強を続けていきたい」子どもたちの選択肢を広げるひとつとして、「大池中学校校内ふれあい教室(チャレンジルーム)」が位置付けられます。上記の図のように、『四日市市登校サポートセンター「ふれあい」』へ入級・通級を継続している子どもたちもいます。

④ チャレンジルームの場所はどこになるの？！

大池中北館2階の階段上がって左手にある「教室」がチャレンジルーム。

チャレンジルームについて、ご相談やご質問等につきましては、まずは、クラス担任までご連絡ください。

⑤ チャレンジルームでは、どんな活動をするの？！

「1日の活動予定作成」「自主学习(教科担当の先生がいます)」と「小集団活動・学習(技術・家庭・体育・美術・英語など)」、「一日の振り返り」。そして、「教育相談」などを中心に考えています。

「チャレンジルーム」の交流活動。四日市メリノール学院高校通信制課程に通う生徒との授業間交流は2年目となります。今年度は「12月のメリノールクリスマス会に参加」です！

(内容)メリノール学院高校通信制に通う高校生と、チャレンジルームの子どもたちとの授業間交流を通して、心あたたまるふれあいの中で、社会的自立を目指し、自己肯定感をはぐくむ学びの場とする。具体的には、メリノール学院に出向き、メリノール学院で大切にしているクリスマス会に参加し交流を深める。

【チャレンジルームに通う、3年生の生徒の作文を紹介します(本人の許可を得て記載しています)】

■ 作文題名 「三年生になって」

三年生になって私は、勉強と、一年生二年生の時より多く登校することをごんぱりたいです。

理由があって教室に入りづらくなり、不登校期間がありました。少し経って、先生から「チャレンジルーム」をすすめられ今はチャレンジルームでがんばっています。チャレンジルームは、自分のペースでゆっくり勉強できる場所です。二年生は数回しか参加できず、今も追いつけてなく自分のペースで進めています。受験生なので、登校数を増やし、教室には入れないけどチャレンジルームでがんばりたいと思っています。親ともたくさん話して、「教室に入れなくても行くことに意味がある」と言われ納得し、勉強に追いつけずに不安だったけどポジティブになれました。あと一年しかないけど、焦らずゆっくり進めていきます。

学校は好きだし、人間関係も大事だと思います。だから、あきらめたくなくて、新学期から教室に入ろうと思ってみたけど、勇気が足らずに無理でした。でもチャレンジルームでは自分の居場所があり、すごく落ち着きます。わたしは、自分の選択を間違えていなかったんだなと感じました。これからも受験に向けてがんばります。

